都立小平高等学校　グランドデザイン

【生徒／学校の現状】
全体共通
授業にまじめに取り組む姿勢があり，課題の提出率も高い.
与えられたもの以上の内容を自主的にやろうとする生徒はまだ少ない
学業，部活動，行事に意欲的に取り組むが，両立に苦労する生徒も見受けられる.
社会的な問題に対する興味・関心が薄い
コースを中心に英語を得意とする生徒が多いが，理数系は全体的に苦手とする生徒が多い.
真面目だが積極性にかける普通科，積極的だが丁寧さにかけるコース
冒険心に欠ける，組織力・リーダーシップ弱い

【予想される社会の変化】
予想できない社会
生産人口の激減，超高齢化社会による活力衰退
ＡＩの発達による単純労働の減少
労働形態の多様化
学歴ではなく学んだことをどう生かせるか，発信する力，探究する力などが重視される.

【教育目標】
全体共通
「自主」“Independence”「誠実」“Sincerity”「英知」“Intelligence”の校訓のもと
〇国際理解教育を推進し、国際社会に貢献できる生徒を育てる。
〇論理的、実践的な英語力を伸長させる。
〇思いやりの心と高い規範意識をもち、自他を尊重し、共に助け合える生徒を育てる。
〇地域から信頼され、地域社会に根ざした学校としていく。
〇生徒の生命・健康を何よりも優先し、生徒一人一人を本当に大切にしていると生徒・保護者が実感できる教育活動を行う。
〇生徒の進路希望の実現を学校全体で支援し、その実現を図ることで生徒・保護者に喜んでもらえる学校としていく。

学校像/学校経営計画
規律ある学校生活の中で、学習と部活動を高いレベルで両立し、グローバルな視野をもった人を育てる。

【目指すべき生徒の将来像（２０年後の生徒の姿など)】
☆全体
　高度な語学力や豊かな国際感覚とともに多様性を受け入れる資質を身に着けることを通して、世界中の人々とコミュニケーションをとることができる能力や柔軟な思考に基づいた新たな価値を創造する能力を持ったグローバルリーダーを育成する。

☆目指すべき小平高校生の将来像
① 「規範を示し、リーダーシップのとれる人」
② 「課題に対して、自ら計画を立て、考えて行動できる人」
③ 「学ぶ姿勢を持ち続けることができる人」
④ 「自己や他者を認知し、協力しながら、柔軟に物事を進めることができる人」
⑤ 「専門性（スペシャリスト）や統合力（ゼネラリスト）を備えた人」
⑥ 「高いコミュニケーション能力を備え、知的好奇心に溢れた人」
⑦ 「小平の英語力に加えて，科学的・論理的思考ができる人」
⑧ 「SDGｓの視点から日本の将来像についてグローバルに考えることができる人」
⑨ 「society5.0 に向け，AI や ICT に対する深い理解と活用スキルを兼ね備えた人」

【育成すべき資質・能力】
全体　小平の校訓　自主・誠実・英知

「自主」“Independence”　学びに向かう力を育む　ホップ
Ａ　主体的行動力　　自分で計画を立て考えて、行動することができる。
Ｂ　挑戦力　　失敗を成長の糧ととらえ、試行錯誤を重ね、物事をやり抜くことができる。
Ｃ　判断・統率力　　他者の意見を聞き、広い視野で物事を判断し、率先して進めていくことができる。

「誠実」“Sincerity”　知識・技能を身につけ土台を作る　ステップ
Ｄ　協働力　　自分の役割を理解した上で、協力しながら互いに情報を共有して物事を進めることができる。
Ｅ　対応力　　自己や他者を観察･認知し、国際理解教育等を通して様々な問題に柔軟に取り組むことができる。
Ｆ　規範力　　自分の行動や判断の拠りどころを持つことができる。

「英知」“Intelligence”　思考力・判断力・表現力を磨く　ジャンプ
Ｇ　言語力　　英語力･国語力をみがき、自分の考えを豊かに表現することができる。
Ｈ　知的探究力　　広く好奇心をもち、物事の本質を見極め、深く追究することができる。
Ｉ　論理的能力　　物事を深く理解し、柔軟な発想をもって思考することができる。

	育成すべき資質・能力	レベル１	レベル２	レベル３	レベル４
自主 Independence	A　主体的行動力	他からの働きかけや課題設定に応えて、行動することができる。	自ら問題を見つけ、それを解決するために、計画を立て行動することができる。	常に社会問題に関心を持ち、それを解決するために、計画を立て行動することができる。	常に社会問題に関心を持ち、それを解決するために、他の協力を得ながら、持続的に行動することができる。
	B　挑戦力	目の前の課題解決に向けて、主体的に取り組むことができる。	物事を前向きにとらえ、目の前の課題解決に向けて、積極的に取り組むことができる。	困難なことであっても、課題解決に向けて深く考え、行動し続けることができる。	失敗してもそれを糧とし、どんな困難に対しても途中であきらめず、自分の責任を果たすことができる。
	C　判断・統率力	他からの指示や支援を受けながら、課題に対応することができる	自発的かつ責任をもって、課題解決に向けた対応策を実行することができる。	他からの協力を得ながら、組織的に、課題解決に向けた対応ができる。	目的意識の共有や役割分担など、リーダーとして周りに配慮しながら、組織を統率することができる。
誠実 Sincerity	D　協働力	自分の役割を理解している。	周囲の動きに気を配ることができる。	コミュニケーションをとりながら、情報を共有できる。	自分の役割を理解した上で、協力しながら互いに情報を共有して物事を進めることができる。
	E　対応力	自己や他者を観察、認知することができる。	課題を意識することができる。	グローバルな視点に立ち、問題に対応できる。	自己や他者を観察･認知し、国際理解教育等を通して様々な問題に柔軟に取り組むことができる。
	F　規範力	社会における規範の必要性を理解している。	自分の行動や判断のよりどころをもつことができる。	集団において、行動や判断の基準となる考え方を自ら示すことができる。	行動や判断の基準を自ら示し、集団をよりよい方向に導くことができる。
英知 Intelligence	G　言語力	学習している英語・国語の基本的内容を理解することができる。	習得した英語や国語を用いて文章で表現することができる。	習得した英語や国語を用いて自分の考えを表現することができる。	英語力・国語力を磨き、自分の考えを豊かに表現することができる。
	H　知的探究力	説明を受けながら身の周りのことに興味・関心をもつことができる。	指導・助言を受けながら考察を進めることができる。	問題や課題を自ら発見し、解決策を見つけることができる。	広く好奇心を持ち、物事の本質を見極め、深く探究することができる。
	I　論理的能力	自分の考えをまとめることができる。	物事を多角的に捉えようとすることができる。	自分の考えを順序立てて考え、説明することができる。	物事を深く理解し、柔軟な発想をもって思考した内容を他者に伝えることができる。

目指すべき生徒の将来像

高度な語学力や豊かな国際感覚とともに多様性を受け入れる資質を身に着けることを通して、世界中の人々とコミュニケーションをとることができる能力や柔軟な思考に基づいた新たな価値を創造する能力を持ったグローバルリーダーを育成する。